

「天気明朗なれど風強し」日に「早大の原点水稲神社はどこへ行った？」散策と「金子さん米寿祝&散策の会新年会」を実施しました。今回の散策の報告書は、現在写真(おおむね左側)と古写真・絵図(おおむね右側)などを交え、早稲田大学の歴史を追ってみたいと思います。



参加者は左より志賀さん(この写真直前からご参加)、中村さん・北嶋さん・中島さんご夫妻・小島さん・関口さん・金子さん・山崎さん・水野さん・吉成さん・馬道の12名様。新年会は、滑志田さんがご参加いただき13名様で盛大にそして心温まる贈り物など記憶に残る新年会&金子さんの米寿祝になりました。

早稲田大学の原点を散策しよう！という企画です。授業で受けたのか？と言われましたがその授業は、40名定員でキャンセル待ち23番で受講できませんでした。大学のHP始めいろんなところからの情報を組み合わせ、私の少しばかり建築の知識をフル活用して組み立てましたいつもの当日の写真に吉成さんの写真を加え、古地図・錦絵・古い写真などを交えました。私的には、永久保存版の資料になりました。



新旧の高田馬場駅



↑ 1960年頃の写真
高田馬場駅開設1910年
(明治43年)と比較的遅い



早稲田松竹「昔はもっと色が茶色で暗い感じだった」

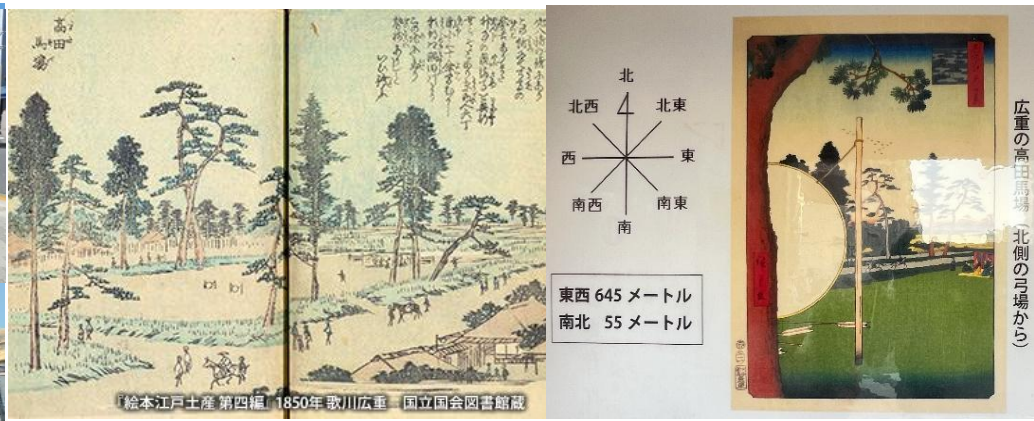
→平日は、お店の商品に埋もれているが日曜日なので皆で読解頂く
早稲田通馬場駅と大学の中間点
西へ高田馬場駅
南へ早大
北に面影橋 などと書かれていることが判明した
いつの時代か？早大とあるから比較的新しい道標？(後日お店にお聞きし大正11年でした)



高田馬場の地名は、大学西門の目の前にあった旗本の馬術練習場。あの堀部安兵衛の「助太刀いたす！」と伯父を救った仇討ちの場でした



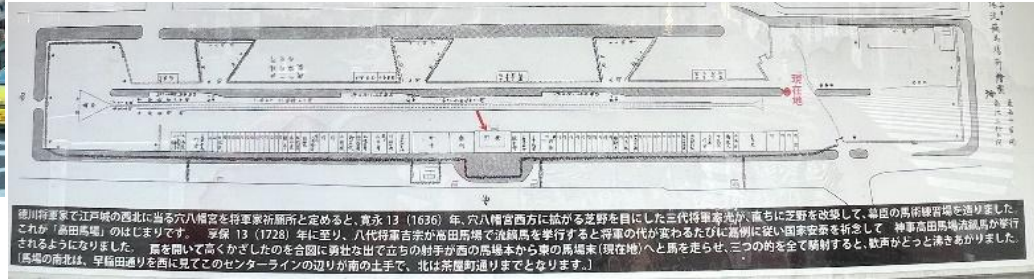
堀部安兵衛仇討の場所(場内北側)



絵本江戸土産 第四編 1850年 歌川広重 国立国会図書館蔵

東西 645メートル
南北 55メートル

広重の高田馬場(北側の弓場から)



徳川将軍家江戸城の東北に当たる穴八幡宮を将軍家祈願所と定めると、寛永13(1636)年、穴八幡宮西方に広がる芝野を自にした三代将軍家光が、直ちに芝野を改築して、馬場の馬術練習場を造りました。これが「高田馬場」のはじまりです。享保13(1728)年に至り、八代将軍吉宗が高田馬場で流鏝馬を挙行すると、将軍の代が変わるたびに高田に代りて国家安泰を祈念して、神事高田馬場流鏝馬が挙行されるようになりました。高を聞いて高くかざしたのを合図に勇壮な出で立ちの射手が西の高場本から東の高場末(現在地)へと馬を走らせ、三つの的を全て射撃すると、駄馬がとっと跳きあがりました。[馬場の南北は、早稲田通りを西に見てこのセンターラインの辺りが南の土手で、北は茶屋町通りまでとなります。]

... 1634年旗本の馬術練習場(645m × 55m)の位置(家光指示)
(↑右上)吉成さんが私の説明風景をお撮りいただきました



元文三年高田馬場流鏝馬之圖の写しの一部 1738年 国立国会図書館蔵

八代将軍吉宗の子の疱瘡治療祈願の為1728年(享保13)高田馬場で流鏝馬を行った絵図(中央奥の赤い建物は穴八幡か?)

【古地図の水稲神社は 今は水稲荷神社として甘泉園に隣接しています】

早稲田大学本部キャンパスの2/3は元**水稲神社**の敷地でした。一方徳川御三卿の清水家の下屋敷敷庭が甘泉園です。今は枯れましたが美味しい甘い水が湧きお茶に会うことから命名されました。1938年(昭和13)早稲田大学の施設になり、1961年(昭和36)旧水稲荷神社の土地を購入し移転する資金として都へ売却、9号館を建築しました。そして53年後の今建替中です。 **2027年5月竣工**



← の部分に
早稲田大学の名
彫られています



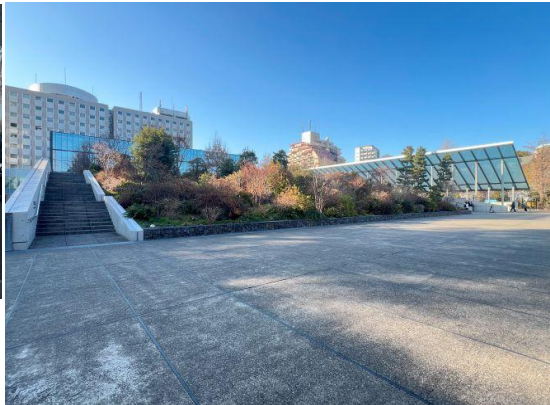
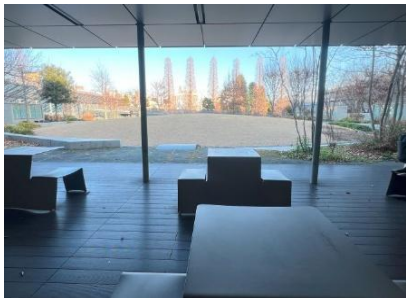
↓ →甘泉園風景
右:滝があります



立派なお社です

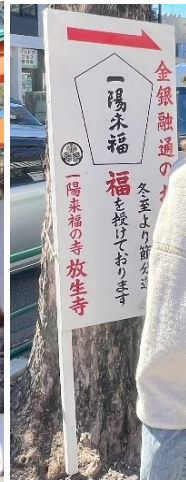


【早稲田高等学院発祥の地は文学部入り口】 1920年(大正9)大学予科として三年生の早稲田高等学院発足 1956年(昭和31)上石神井へ移転

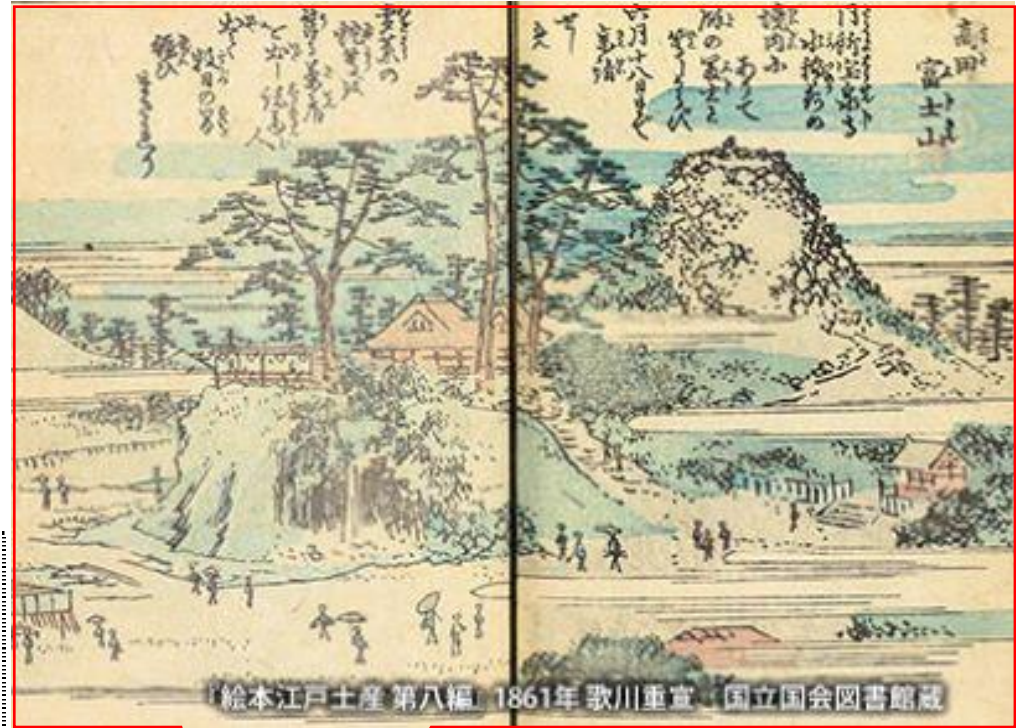


↑ 早稲田アリーナのとっぺん
→現在の早稲田アリーナ全景
→1964年(昭和39)完成「記念会堂」東京オリンピックフェンシング会場
多くの方が入学式の冒頭と卒業式の最後に校歌を歌った思い出の建物







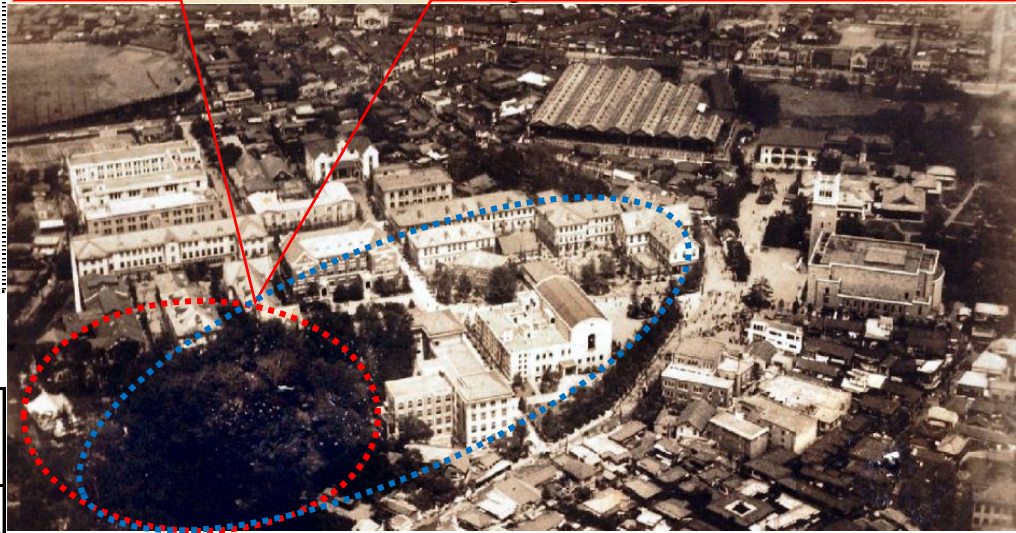
穴八幡宮は「一陽来福」として節分まで大賑わい 福 = 合格か



現 水
 在 稻
 の 神
 場 社
 所 は、
 へ ど
 移 こ
 転 か
 し ら
 た

富士山信仰から高田富士が作られ眼に効くと言われた湧き水が有り江戸市民にたいへん人気がありました。

	1861年歌川重宣絵本江戸土産第八編「高田富士」図 富士山信仰から水稲神社の奥に石を盛った
	古地図から想定する水稲神社の敷地(昭和33年の写真)

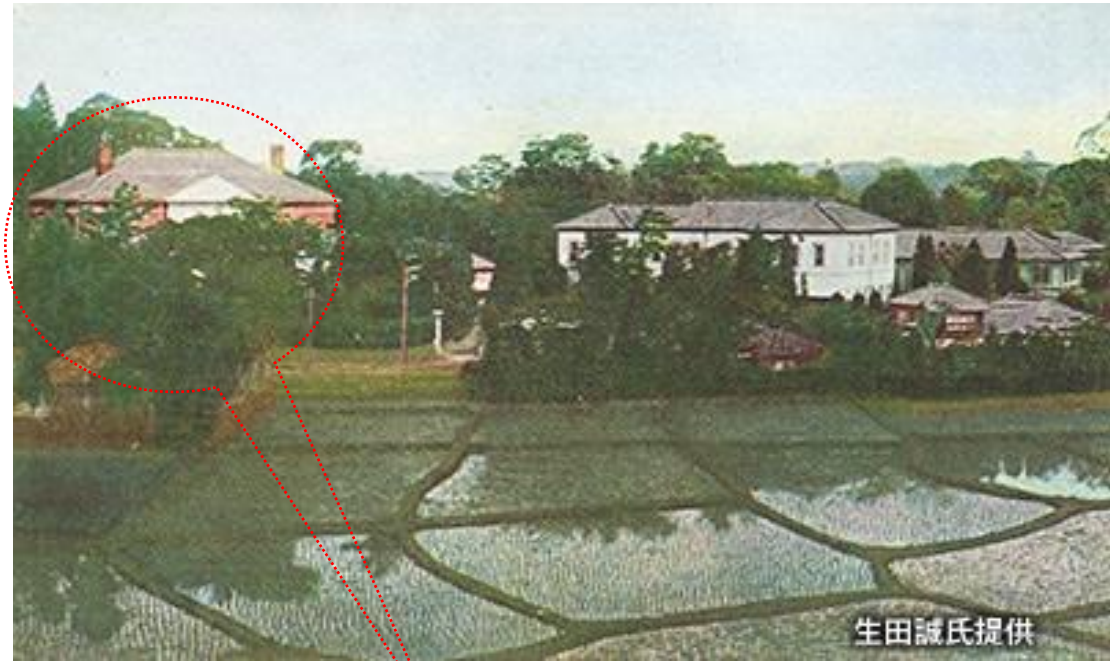


【早稲田大学の正門は現在の南門の東にあった】

右の写真は、よく目にする東京専門学校時の正門前写真
①地理的に大学キャンパスは、やや高台にあり、平地は水田です。その間を人は歩き「道」が出来ます。それが早稲田通りの発祥で江戸時代と変わらず今も歩いています

②右上の写真に写る東京専門学校の大講堂(現8号館辺り)は、右下の明治後期に大学になった時の正門の写真に写り昔から本家の辰巳(東南)は縁起の良い方角とされ門を構えたと思われます。

③今回の集合写真の位置と旧正門の位置は、少し違うとは思いますが、写真右側にある凹部は、その名残では？正門が現在の位置になるのは1935年(昭和10年)です。



正門から直線上にあるのは恩賜記念館(現7号館)東京専門学校校舎

【正門の変遷】

(↓四本の門柱と観音開きの鉄の扉あり)

(↓上のカラー写真と見比べてください)



↑ 1935年(昭和10)それまでの門柱や扉等を全廃
「門無き門」と市民と大学の隔たりが無い解放感



↑ 1925年(大正14)左上図書館の完成し
現在の通用門(図書館正面)に移転



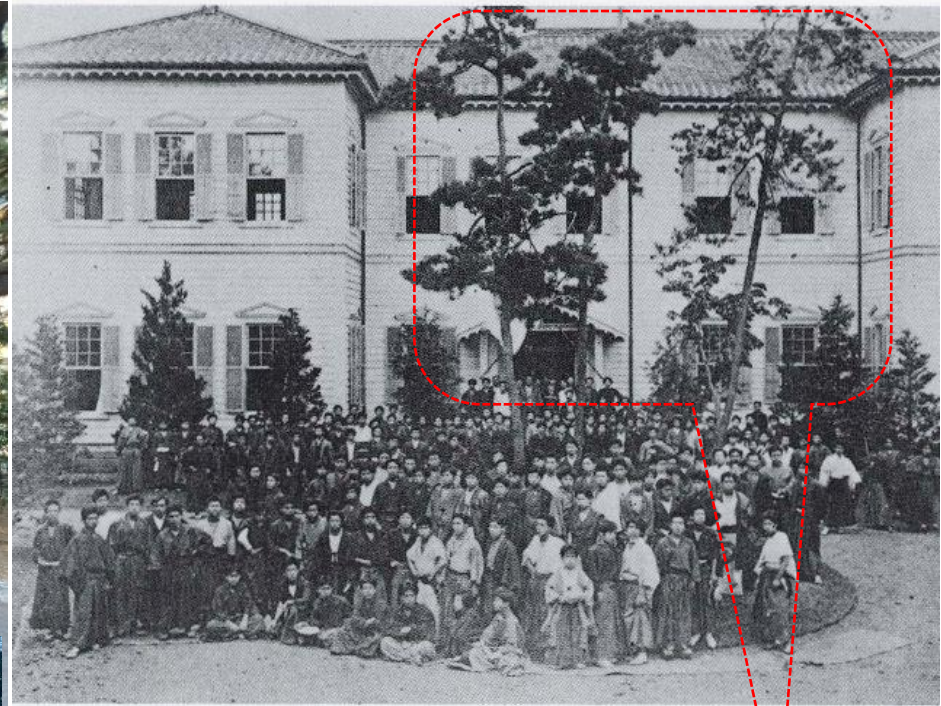
↑ 1916年(大正5) (奥に恩賜記念館を望む)
恩賜記念館から縁起の良い辰巳方角に正門



東京専門学校校舎の位置に、1908年(明治37)皇室より3万円下賜され、1918年(大正7年)増築(上左)、1945年(昭和20)の東京大空襲で焼失

【早稲田大学発祥の地：東京専門学校校舎→恩賜記念館→7号館と変遷】

↓1884年5月 東京専門学校校舎前で第一回卒業者の記念写真



右の写真とほぼ同じ場所で記念写真

大隈重信侯の自邸を
 見下ろす位置に立
 ち早稲田大学発祥
 の校舎前で我々を
 見守って戴いて
 感謝の気持ちを
 伝えるように
 する



上
 の
 写
 真
 に
 写
 る
 樹
 木
 は
 マ
 ラ
 ヤ
 ス
 ギ
 一
 命
 3
 ヒ
 の
 推測
 本
 残
 6
 0
 0
 年
 一
 現
 と







【早稲田大学最古の木造建築：大隈重信邸の門番舎】



(北嶋さんや中島さんの立っている位置あたりに門柱があった)



大隈重信邸は、この門番をくぐり奥にありました。現在の大隈庭園は、戦火で荒廃しましたが、**かなり忠実に復元された**そうです。

庭園には、池がありますが、当時水田に水を供給していた加二川(現在は暗渠)から引き込み造られたことが記録に残っています。

大隈侯は、盆栽がお好きでたくさんの**盆栽**を育て(現在のリーガロイヤルホテル付近に盆栽小屋もあった)客人に合わせ食堂や床の間に飾りました。

←現在の建物の位置と上の写真の門番の建物の位置は同じです。

散策の会の女性の方々にお願いして並んでいただき記念写真としました。

ご覧の通り、大隈講堂前の道路とお敷地の境界は、今も同じです。

(水野さんによるとJTBが事務所として使っていた時期もあったとのこと)

【散策の会 金子さんの米寿祝新年会】



↑小島さんのご挨拶とご発声で宴が始まりました

新年会の記念写真



北嶋さんの手品 訳の解らない文字→手品→拍手 に変わり **皆さん拍手!**



↑ 皆さんから記念品を北嶋さんより贈呈いただきました
(記念品：早稲田大学のロゴと金子さんのネーム入りクロスのボールペン)

右上：皆さんにお書きいただきました色紙を関口さん・中島さんの奥様より
贈呈いただき、金子さんもご満悦のご様子でした

右下：吉成さんの俳句の色紙を贈られお慶びの金子さん



志賀さんの10本一本締めで 目出度くお開きとなりました



←記念写真の奥の方を切り取り拡大しています

金子正男さんへ



祝米寿

懸命に生きて米寿の初苗

米寿は夢も希望も去年今年

越し方は一炊の夢初芝居

独りもよし男の料理雑煮鍋

何々の財は人の輪年酒酌む

愉しみは俳句散策日脚伸ぶ

余生相いと言ふことなれ老の春



二〇二五年十一月二六日 早稲田 金城庵にて

吉成愚公 行



HAPPY 88th BIRTHDAY

金子さんの米寿を称える吉成さんの句

ご参加された方々が金子さんにお祝いを書かれた色紙

祝、おめでとうございます。
私の目標として、いつま
でもお元気でいて下さい。関口

おめでとうございます
いつまでも
ご先導下さい。
中村光毅

大尊敬しております
今後ともご活躍
下さい。山崎

金子さん米寿のお祝い
おめでとうございます。
後塵を拝し、前向きに歩んで
見たい。
百寿身体のご健康!! 志保

生涯現役!
余生はまだまだ先を歩む
ための好
者

祝米寿

お元気で長生き
して下さい。今年
の目標は何ですか
北嶋

金子さんへ

憧れの先輩です!
私も上には年を重ねたい
いつまでもお元気で!!!
はかばか

強い足腰は元気の
素です。テニスで楽
しみましょう。中島克三

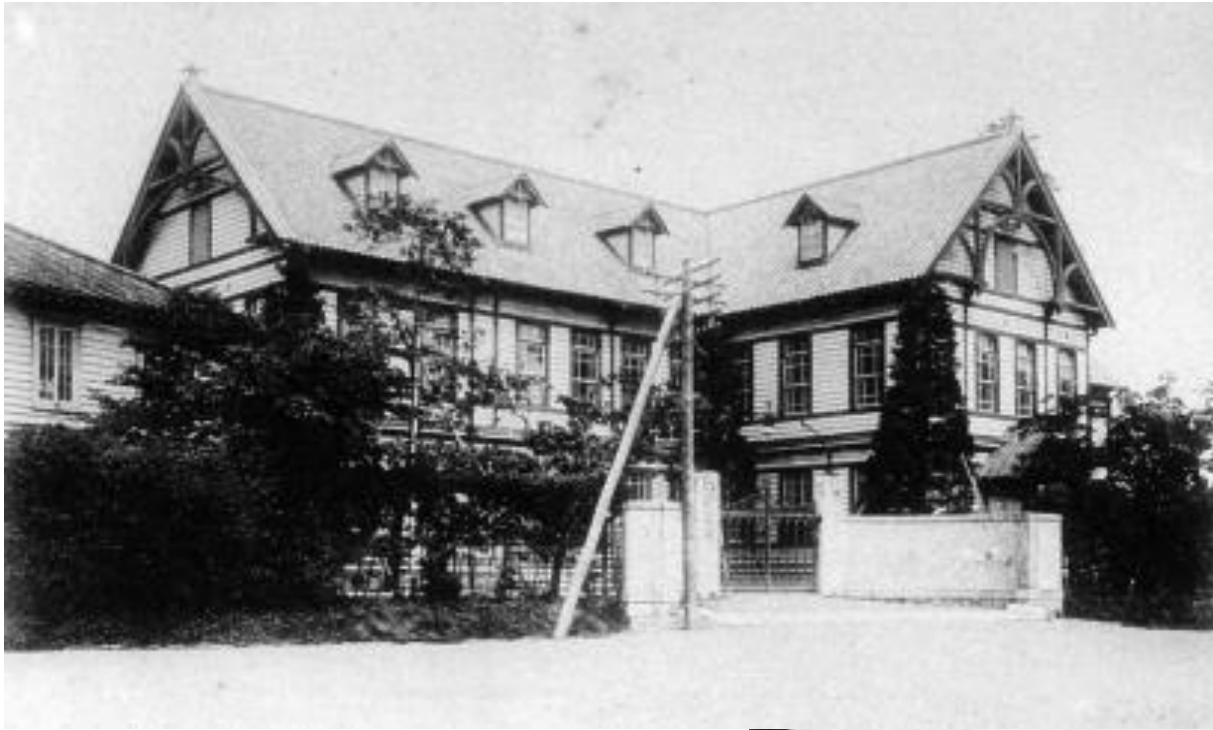
私もハハハの時に祝
つておめでとう言いたい
思いが
お元気でいて下さい

祝、西橋旬会より。
雪吊りも、池の雲
おくにさんが喜ぶ
んでおめでとう
思ひます。流牧
金子さんご目標に
がんばります

散策の会を創設され先頭に立ち歩かれる
お姿に感動しております。ゆっくのんびりとの教え
をこれからはがんばります
今後ともご参加いただき先頭に立ち散策
おしお願い致します
三代目代表 馬道 哲

金子さん 米寿おめでとうございます

金子さんと松尾さんで始められた「散策の会」は26年経過し これからも先頭を歩いてください
そしてご参加いただき新年会で皆様からの温かいご祝辞とご協力に感謝申し上げます
散策の会 今年もどうぞ よろしく願い致します



【参考資料】

←商科校舎(現在の商学部の位置)

1904年(明治37年)頃の写真

2024年商学部120周年です

→1903年(明治36)高等予科教室校舎として開設
後の理工系校舎(ひょっとして小島さん、この校舎が
学び舎でしょうか?)現在の14号館辺りです





←正門を現在の位置に変える前の記念に撮られた写真ではないかと推測しています
奥に銅像や恩賜記念館も望め
左端に図書館もあります

↑ 昭和初期の早稲田大学

現在の正門方向からの写真ですが、正門は、おそらく左下の現在の通用門あたりにあったのでは？学内の通路の導線が曲がっています。現在の正門の位置になるのは昭和10年(1935年)です。



←現在の通用門



→現在の街並み



【私から金子さん米寿プチ祝】 金子さん 体育の学科で取られたテニスの原点 甘泉園の思い出のテニスコートは 今も残っています！



一面1500円／二時間（二面あります）TEL03-3232-7701 新宿未来創造財団
時には、テニス仲間の皆さんと早稲田キャンパスの隣まで高田馬場駅から訓練を兼ねて歩いてプレーし「金城庵」か高田馬場のいつもの居酒屋で打ち上げなんて如何ですか？

○ たぶん私の体育の学科「相撲」道場はココにあったと思います
一度も勝てませんでした「優」でした(出席率100%です)

【編集後記】

早稲田大学のルーツをさぐる散策の会でした。①高田馬場の地名は、大学西門の目の前でした。②本部キャンパスの2/3を占めた水稲神社はその後、名を水稲荷神社へ、土地購入のため都へ売却した甘泉園に隣接したところへ移転した。③早稲田高等学校の原点は、文学部キャンパスにあり、多くの方が入学卒業された記念体育館辺りでした。④正門は、三回変遷しています。⑤そして、何よりも早稲田大学発祥の校舎は東京専門学校校舎であり、その後天皇陛下から恩賜記念館となり、現在の7号館へと変遷しました。それを見守る大隈重信侯の銅像です。

私の俳句 “貧乏は早稲田の誇り寒桜” “新年会米寿祝いて残り酒” “初春や学び舎建替（かわ）り酒ひたり”

馬道

庭球場の利用について

○この施設を利用するためには、あらかじめ団体登録が必要です。
○ご利用申込みについては、「新宿区施設貸出システム」により、施設の予約や抽選参加申し込みができます。
○登録・利用申込み等の詳細については下記へお問い合わせください。

利用料 (1試合2時間)	1,500円
-----------------	--------

注意事項

- 利用当日は、利用前に利用承認書を管理事務所管理人に提示し、利用料金の支払いをしてください。利用承認書のない団体は利用できません。また利用承認書は他人に譲渡できません。
- 製品の販売、受講料を徴収する教室行為などの営利活動は禁止です。
- 利用時間には、コート整備や更衣等の時間を含みます。利用後は必ずコート整備をしてください。
- 定められた利用時間以外に入場できません。
- コート内では必ずテニスシューズを履いてください。
- 利用後は施設の庫状復原が原則です。また、ゴミは各自必ずお持ち帰りください。
- 次の行為は禁止します。
 - ・施設内での飲食 - 喫煙及びアルコール類の持込 - 火気の使用
 - ・車での来場 - ペットを連れての来場
 - ・競技場外でのプレーなど、通行人や他の利用者の迷惑となる行為
- 早朝や夜間の大きなかけ声、施設周辺等での会話は近隣住民のご迷惑となるためご遠慮ください。

その他、職員からの指示に従ってください。
利用状況によっては、利用中止及び団体登録を取消す場合があります。

公益財団法人 新宿未来創造財団
(新宿コスミックセンター内) 電話 / 3232-7701
<https://www.regasu-shinjuku.or.jp>